

# 市政に対する

# 一般質問

今定例会では、12人の議員が9月2日、3日、4日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

**一般質問**とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

## 四本奈緒美議員

- 幸手市の防災減災の取り組みについて

## 坂本達夫議員

- 新型コロナウイルス対策について
- 次期公共交通について
- 洪水対策について

## 青木章議員

- 新型コロナウイルス対策での幸手市での事業について
- 幸手市におけるPCR検査等について
- スポーツ都市幸手を目指して

## 小林啓子議員

- 幸手市デマンド交通について
- 地方創生とシティプロモーションについて

## 松田雅代議員

- 埼玉東部消防組合幸手西分署救急ステーション化について
- 新型コロナウイルス感染症対策における幸手市の通常業務に関する対処方針について

## 本田謡子議員

- 台風19号から約1年、現在の防災対策とこれからについて
- 幸手市避難所運営マニュアルについて

## 大平泰二議員

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 幸手市定員適正化計画について
- 財政問題と駅西口土地区画整理について

## 小林英雄議員

- 市庁舎の現状・新庁舎建設までの対策について

## 海老沼隆夫議員

- 公共交通機関について
- 保険料の均等割りの改善について
- 排水溝の汚泥について

## 枝久保喜八郎議員

- 防災対策について
- コロナ対策について
- 本年度教育行政重点施策について

## 武藤壽男議員

- 幸手市の財政状況について
- 市の諸計画について

## 小河原浩和議員

- 市長就任1年目を迎えるに当たり市政運営全般の統括について市長に伺う
- 選挙公約に掲げた4本柱の施策と課題について市長に伺う

### 7月臨時会

|     |               |
|-----|---------------|
| 傍聴者 | 3人の方が傍聴されました。 |
|-----|---------------|

### 9月定例会

|     |                |
|-----|----------------|
| 傍聴者 | 35人の方が傍聴されました。 |
|-----|----------------|

| 議会インターネット中継のアクセス件数                 |       |             |      |
|------------------------------------|-------|-------------|------|
| インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。 |       |             |      |
| 7月                                 | 495件  | 8月          | 122件 |
| 9月                                 | 3509件 | の方が視聴されました。 |      |

### 9月定例会 会期日程

- 9月1日(本会議)
  - ・開会・会期の決定・報告事項
  - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 9月2日・3日・4日(本会議)
  - ・市政に対する一般質問
- 9月10日(本会議)
  - ・議案に対する質疑
  - ・議案の委員会付託
- 9月11日・14日(委員会)
  - ・文教厚生常任委員会
- 9月15日(委員会)
  - ・総務常任委員会
- 9月17日(委員会)
  - ・建設経済常任委員会
- 9月28日(本会議)
  - ・委員長報告、質疑、討論、採決
  - ・閉会

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 9月定例会の会議録は12月上旬頃公開予定です。

災害時のペット同行避難について



四本奈緒美議員

**Q** 本年5月に作成された「幸手市避難所運営マニュアル」には、「避難所の敷地内（屋内・屋外）にペット専用のスペースを設けます。」とある。

災害時におけるペット同行避難の幸手市の考え方と対策を伺う。また、飼い主のマナーについて伺う。

**A** 避難場所および避難所を最優先に守る場所であると考えている。

避難者の中には、アレルギーの方や、動物が苦手な恐怖を感じる方もいると思うので、ペットを同伴された場合については、可能な限りペットの居場所を検討したいと思うが、人と同じ避難空間には入れないこと、ケージ等に入れることなどの一定の条件は必要と考えている。



(市民生活部長)

次期公共交通について



坂本達夫議員

**Q** 「デマンドバスは皆様の意見を参考に、より良い公共交通となるよう見直す」としていた。その後、市は今年3月に公共交通アンケートを実施した。その結果、市民が望む公共交通は「循環バス73・8%、デマンドバス11・9%」という内容であった。

市長は昨年11月、所信表明をされた。その中に「デマンドバスは皆様の意見を参考に、より良い公共交通となるよう見直す」としていた。その後、市は今年3月に公共交通アンケートを実施した。その結果、市民が望む公共交通は「循環バス73・8%、デマンドバス11・9%」という内容であった。

**A** 現在、循環バスを軸とした公共交通について協議を行っている。今後、循環バスの運行内容について議員の皆様に対してご意見をお聞きし、また、地域公共交通会議で、承認をいただく予定である。その

では、市長はいつから循環バスを運行させる考えなのか。9月末に5年間のデマンドバス契約が切れるので、令和2年10月から実施を考えているのか。

後に、予算の議決、運行業者の選定、路線認可のための協議を経て、国土交通大臣への申請など、諸手続きが必要である。また、停留所設置のため関係各所と調整する必要がある。このようにな多くの手順を踏んでいくことから、次期公共交通の導入時期については、令和4年1月であれば運行可能であると見込んでいる。(市長・市民生活部長)

高校野球公式戦幸手市誘致について



青木 章議員

**Q** 「令和2年度夏期埼玉県高等学校野球大会」が

8月8～23日、県内13球場で開かれました。埼玉県独自大会に146チームが参加し、狭山ヶ丘の優勝で幕を閉じました。この大会13球場のうちのひとつが「幸手市営ひばりヶ丘球場」でした。私自身球場に向き場外から見てまいりましたが、とて

も素晴らしい試合でした。市民が身近かで見れるよう、今後も幸手市で高校野球の公式戦が開催されるよう市長が先頭に立ち誘致をして欲しいと思うがいかがでしょうか。

**A** 新型コロナウイルス感染症拡大により、第102

回全国高等学校野球選手権大会が中止となり、埼玉県独自大会の試合の一部が幸手市のひばりヶ丘球場で開催されました。

例年開催されている夏の全国高等学校野球選手権埼玉大会の開催会場として使用するためには、球場設備に不足があるとの指摘を埼玉県高等学校野球連盟より受けており、現段階での誘致は難しい状況ですが、前向きに誘致活動を行ってまいりたいと考えます。  
(市長)

幸手市デマンド交通は



小林啓子議員

**Q** 平成27年10月から幸手市デマンド交通の運行が

開始された。現在に至るまでの経緯と運行形態で見直された内容を伺う。現在の登録者数を伺う。幸手市にとって今後の幸手市デマンド交通のあり方を市長に伺う。

**A** デマンド交通は、利用したい時間が重なること

などから、予約が取りづらい、予約が取れないなどの声があった。今まで、予約があれば運行時間をまたぎ、次の便へと継続して予約・運行するなどの見直しを行った。

令和2年7月末時点で4、316人に登録して頂いているが、現在は、次期公共交通に対するアンケート結果で希望の多かった循環バスを軸に、協議を行っ

ている。また、今までのデマンド交通の利便性も踏まえて、タクシー補助制度など、さらに検討していきたいと考えている。

(市長・市民生活部長)



## 消防西分署救急ステーション化について



松田雅代議員

**Q** 今年5月、組合正副管理者会議において西分署の「救急ステーション化案」が提示され、幸手市では庁議を経て案の受け入れを決定。8月18日には組合に対し市として西分署の救急ステーション化に同意の立場で態度表明することとなった。

正副管理者会議での協議の結果を伺う。

市長には来年4月1日の「西救急ステーション」の開所に向け最後までご尽力いただきたいと思うが今後の手続きを伺う。

**A** 8月18日に4市2町の首長全員が出席する正副管理者会議において、組合から提示された西分署の救急ステーション化が、現時点において最善の選択であるとの結論に至ったので、この内容でお願いしたい。

いと申し上げた。各首長におかれては、おおむね好意的に受け止めていただき、明確に反対される首長はおられなかったため、承認されたものである。

この結果は、今後組合議会に報告されると考えている。

(市長)

## 活かせるのか幸手市避難所運営マニュアル



本田謡子議員

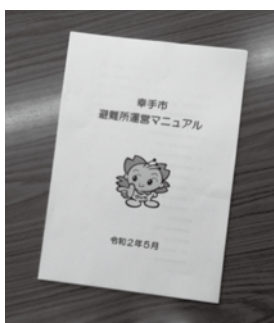
**Q** 本年5月に発行された「幸手市避難所マニュアル」は、どう活用していくのかを伺う。また、自主防災組織がある無しに係わらず、早急に、「地域向けの基本的」な避難所マニュアルを作成し、その後、各地域で地域に合った地域版避難所マニュアルを作り上げ、そして訓練が必要と考えるが、市の見解

**A** 避難所運営マニュアルについては、市のホームページにおいて周知を図っている。

今後、多くの市民に内容を周知するために、防災講話などの機会を設けていくとともに、各避難所等の開設および運営について、施設や地域、避難所担当職員等の協議を進め、地域での避難所運営体制を整えたいと考

えている。

(市民生活部長)



幸手市  
避難所運営マニュアル

市の財政難となった原因について



大平泰二議員

**Q**

幸手駅西口土地区画整理事業については、令和2年度末までの見込額で6億1220万円上回り、駅舎建設では55%の国庫補助としたが交付された補助額は19・9%。古川橋橋梁改修事業では2億8637万円も上回る事態となっています。これら予算を上回った総額は約13億円になろうとしています。

**A**

幸手駅舎・東西自由通路の事業費は、精算額が25億6921万5277円となり、駅舎の最終的な補助率は20・5%である。古川橋の事業費は、最終的に10億8089万559円を見込んでおり、利用者の安全や災害時の輸送道路が確

保された。幸手駅西口土地区画整理事業については、事業費は計画より上昇傾向になっており、予算規模は社会情勢および財政状況を踏まえ、事業を進めていく。今後、すべての事業について検証していきたいと考えている。  
(市長、建設経済部長)

市庁舎の現状・新庁舎建設はどうか



小林英雄議員

**Q**

本庁舎は、建築後50年以上経過し、経年劣化、雨漏り等の影響により、天井の一部が剥がれ落ちるなど多くの問題が起きている。耐震強度不足のため、大きな地震の発生により、倒壊する可能性が高い状態にある。市民が安心して利用できる環境の確保を、早急にす

**A**

べきと考える。厳しい財政の為、本庁舎建て替えは何年先になるかわからない。安全確保を最優先に考え、本庁舎の使用を止め、機能を移転する為に公共施設等を有効利用することについて伺う。

えられるが、市民の利便性が悪くなるという面もある。  
庁舎建て替えを前提とすると、二重投資になってしまうこともあり、現時点では検討していないが、新型コロナウイルス等の感染症への対策も併せて、さまざまな方法を検討してまいりたい。  
(総務部長)

デマンドバスの運行方法などの改善について



海老沼隆夫議員

**Q** コロナウイルスの感染問題は有りますが、これまで9人乗車できるバスにて、一人又は二人乗車のみ運行がほとんどの状況のようでしたが、その後、どの様に改善されたのか。

電話をしても予約が取れないなどの受付の仕方、予約定員などは改善されたのか。

利用者の乗車・目的場所によって、複雑な組み合わせになりますが、これまでの運行結果から、利用しやすいシステムは組み上がっているのか。  
循環バスの復活は有るのか。

**A** これまでの1時間ごと

に運行を区切るのではなく、予約があれば時間をまたぎ次の便へと継続して予約・運行できるようにしたり、乗車・降車にかかる時間設定を短くして

乗合率を高められるように変更を行った。

今後もデマンドバスを運行している間につきましては、予約受付システムを用いて、利用者の方の確に案内し、一人でも多くの方の要望に応えられるように努めていきたい。

なお、市の公共交通をデマンドバスから、循環バスを中心としたものに見直しを進めているところである。(市民生活部長)

PCR検査の現状について



枝久保喜八郎議員

**Q** 同検査場設置以来の検査件数はどれほどか。次に幸手市民が検査を受ける必要性が生じた場合、どのようなルートで受診することになるのか。かかりつけ医によって異なる状況があると聞かすがどうだろうか。

また、県の指導および補助金月間270万円によって運営さ

れている同事業の補助金の使途明細および事業報告等、責任の所在はどのようになっているのか。

**A** 北葛北部および南埼玉郡市医師会が週5日運営するPCR検査センターの5月から7月までの検査件数は358件である。

現在の体制では、運営に参加しているかかりつけ医からPCR検査センターを紹介されるか、

帰国者・接触者相談センターに相談して検査を受けられるかの2つのルートが存在する。  
PCR検査センターは県の委託事業であり、県の責任下に、委託料が適正に運用されているか審査されるが、市はこの審査に関わっていない。  
(健康福祉部長)

厳しい財政状況下の認識と今後の運営は



武藤 壽男 議員

**Q**

本市は、自由通路駅舎、西口区画整理、古川橋架替等の事業の結果、令和元年度決算時、積立金は約五億円、市債は約百四十五億円と、厳しいものとなっている。

市は、どのような認識をお持ちでしょうか。

また、生産人口の減少下、市税の増高は厳しく、一方、少子

**A**

高齡化が進行する中、扶助費等民生費は必要であり、更には、市庁舎をはじめ公共施設の老朽化は著しく、早急に施設の管理計画のもと整備改善しなければならぬが今後の財政運営を伺う。

実質単年度収支は平成28年度から赤字が続いており、予算編成をこのまま続けると、財政調整基金が枯渇し、財政運営を逼迫する恐れがある。

全ての事業の総点検を行い、運営・維持管理費や補助金の見直し等、行財政改革を進め、国県補助金等を最大限に活用し、交付税算入率の高い地方債を優先して活用する。また、公共施設等の再配置に備えるため、基金を積立て、中長期的な視点に立ち、財政規律を守り持続可能な財政運営を行う。

(総合政策部長)

選挙公約の施策と課題について



小河原 浩和 議員

**Q**

市長就任以来一年を迎えるに当たって、市政運営全般の統括についてのうち、総点検を行うとした進行状況について伺う。

特に、公約でもある災害対策の調整池、西分署の存続についての進捗状況を伺う。

**A**

事業の総点検については、事業の必要性、有効性、費用対効果を検証しながら、必要な事業に全力で取り組むべく、現在も進めている。

調整池については、倉松川の改修事業の進捗や流域全体の浸水状況、国等の治水対策の方向性などを考慮し、調整池を含む包括的な雨水対策について調査・研究を行っていく。

西分署については、西分署の救急ステーション化としての存

続が、東部消防組合正副管理者会議において承認された。

(市長)

